

## 小児への喫煙防止教育に関する研究

看護学科 小児看護学領域 今野 美紀 教授



## Q. この研究に取り組んだ背景は何ですか？

A. 成人喫煙率は年々、減少の傾向にありますが、北海道の女性の喫煙率は全国一高い状況が続いています。2019年度に我々が行った調査では（1小学校6年生・3中学校1年生 n = 306）、約6割の児童・生徒の周囲に喫煙者がおり、受動喫煙の問題は未だ解決されていません。最近では、紙巻タバコと共に新型タバコ（加熱式タバコや電子タバコ等）が流通し、新たなタバコの問題も生じています。この健康リスクの高い喫煙行動に小児が携わることを防ぎたいと思ったことがきっかけで、10年ほど前から喫煙防止教育に携わるようになりました。志を同じとする呼吸器内科医師、禁煙外来看護師、養護教諭らとチームを組むことが出来たことも研究活動を進めました。

## Q. この研究の目的、方法について教えてください。

A. 本研究では、児童・生徒を対象に喫煙防止教育を行い、その効果を児童・生徒の喫煙に対する認識の変化より明らかにします。喫煙防止教育は、これまでわが国で開発されてきた教授法を基盤に、新型タバコの情報等を加えて教授しています。児童・生徒が参加する演習を含め、楽しく学べるようにしています。評価方法は、授業後に喫煙を志向しない認識に変化するかを自記式質問紙によって評価しています。評価時期は、授業前・直後のみならず、授業3か月後も行い、授業効果の継続も評価しています。



## Q. これまでの主な研究成果と将来の展望を教えてください。

A. 授業直後、児童・生徒の喫煙に対する認識は、喫煙を志向しない方に変化しましたが、3か月後にはその効果が減りました。継続的なアプローチが重要となり、保護者にも授業に協力してもらえるよう調査を行いました。心理社会的に高いニコチン依存を示す保護者であっても、子どもの喫煙防止授業を好評価し、子どもの喫煙を望んでいないことがわかりました。喫煙防止授業を通じ、子どもと周囲の人の禁煙・防煙行動に発展する方策を今後も検討していきます。



## もう少し知りたい！と思った方はこちらへ

- 看護学科小児看護学 URL

➡ [https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/ns/ns\\_syouni.html](https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/ns/ns_syouni.html)

- 大学院保健医療学研究科看護学専攻小児健康看護学分野 URL

➡ [https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/g\\_ns/g\\_ns\\_syouni-kenkou.html](https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/g_ns/g_ns_syouni-kenkou.html)